請求の範囲

[請求項1] 多能性幹細胞から分化誘導された目的細胞を含む細胞培養物を製造する方法であって、前記多能性幹細胞から前記目的細胞へと分化誘導して得られた胚様体を分散させた、前記目的細胞および該目的細胞に対して相対的に増殖速度の早い細胞を含む細胞集団を、コンフルエントに達する密度またはそれ以上の密度で播種することを含む、前記方法。

[請求項2] コンフルエントに達する密度が、接触阻害により細胞の増殖を実質的に停止する密度である、請求項１に記載の方法。

[請求項3] 細胞培養物が、目的細胞を、播種前の細胞集団よりも高い割合で含有する細胞培養物である、請求項１または２に記載の方法。

[請求項4] 細胞培養物が、目的細胞に対して相対的に増殖速度の早い細胞群を、播種前の細胞集団よりも低い割合で含有する細胞培養物である、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。

[請求項5] 腫瘍形成能を有する細胞を除去することをさらに含む、請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。

[請求項6] 腫瘍形成能を有する細胞を除去することが、ブレンツキシマブ・ベドチンを用いて処理することを含む、請求項５に記載の方法。

[請求項7] 多能性幹細胞が、ｉＰＳ細胞である、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。

[請求項8] 多能性幹細胞が、ヒト細胞である、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。

[請求項9] 目的細胞が、それを必要とする対象に適用するための細胞である、請求項１～８のいずれか一項に記載の方法。

[請求項10] 目的細胞が、心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓、大腸、小腸、脊髄、中枢神経系、骨、眼、皮膚、血管または血液に適用される、請求項９に記載の方法。

[請求項11] 目的細胞が、間葉系幹細胞、骨格筋芽細胞、多分化性心臓前駆細胞

、単能性心臓前駆細胞、心筋細胞、骨格筋細胞、平滑筋細胞、血管芽細胞、上皮細胞、内皮細胞、肺細胞、肝細胞、膵細胞、腎細胞、副腎細胞、腸管上皮細胞、神経幹細胞、骨髄間質細胞、神経細胞、角膜上皮細胞、角膜内皮細胞、網膜色素上皮細胞、Ｔ細胞、ＮＫ細胞、ＮＫＴ細胞、樹状細胞、または血球細胞である、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。

[請求項12] 目的細胞が、心筋細胞である、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。

[請求項13] トロポニン陽性率が、５０％～９０％である細胞培養物が得られる、請求項１～１２のいずれか一項に記載の方法。

[請求項14] Ｌｉｎ２８陽性率が、０．３０％以下である細胞培養物が得られる、請求項１～１３のいずれか一項に記載の方法。

[請求項15] シート状細胞培養物を製造する方法であって、請求項１～１４のいずれか一項に記載の方法により得られた細胞培養物をシート化することを含む、前記方法。